

次世代 郊外 まちづくり 通信

2013 年 10 月発行

編集・発行

横浜市・東京急行電鉄株式会社

〔連絡先〕 横浜市建築局企画課

☎045-671-3628

vol.7



次世代郊外まちづくり通信は、「次世代郊外まちづくり」のさまざまな活動をお知らせし、地域の皆さまをはじめとして多くの方々に知ってもらうためのニュースです。

【特集】

●「住民創発プロジェクト 第 1 回講評会」を開催しました。

秋も深まる 9 月 21 日、たまプラーザテラス プラーザホールにて「住民創発プロジェクトーシビックプライド・プロジェクトー第 1 回講評会」が開催されました。

住民創発プロジェクトとは？

住民創発プロジェクトとは、今年 6 月に発表した「次世代郊外まちづくり基本構想 2013」に基づき、モデル地区である東急田園都市線たまプラーザ駅北側地区において、地域の方々が主体となるまちづくりの企画提案を広く募集し、その中から次世代郊外まちづくりの実現に資すると考えられるものを「次世代郊外まちづくり認定プロジェクト」として認定、支援していくものです。



講評会は、第 1 部「学びの活動支援部門」と第 2 部「住民創発プロジェクト支援部門」に分かれて行われました。「学びの活動支援部門」は、アイデアをお持ちでプロジェクトに応募する前にもう少し企画の熟度をあげたいという方々が、第 2 回講評会での認定を目指して、実施計画づくりに取り組んでいくための部門です。支援対象に選ばれた企画は、1 企画につき 5 万円が支給されるほか、企画検討に係わる支援が受けられます。「住民創発プロジェクト支援部門」は、すでにスケジュールや予算等が明確になっていて、すぐに活動を始められるグループが認定プロジェクトを目指すもので、認定されると 1 企画につき上限 50 万円を支給、プロジェクトの具体的な活動を推進するための支援が受けられます。

次世代郊外まちづくり住民創発プロジェクト 企画提案紹介

- ▶p2～p3 「住民創発プロジェクト支援部門」 次世代郊外まちづくり認定プロジェクト 5 企画
- ▶p4～p7 「学びの活動支援部門」 22 企画



●住民創発プロジェクト支援部門

『次世代郊外まちづくり認定プロジェクト』の紹介

住民創発プロジェクト支援部門では、講評の結果、「美しが丘カフェ」「フラッシュモブ実行委員会」「交流の森プロジェクトチーム」「たまプラーザ中央商店街+AOBA+ART」「3丁目カフェ準備委員会」の5つの団体が、『次世代郊外まちづくり認定プロジェクト』に認定されました。



1. 美しが丘カフェ

企画テーマ：子育て家庭と地域をつなぐことから始める豊かなまちづくり

約5年前から行われている美しが丘カフェは、イベントや茶話会等を通して、子育て支援やコミュニティづくりを行ってきました。今後は、多世代の交流を促すことで防犯や次世代の担い手の育成など、様々な可能性を拡げていきたいと思っています。



素直に嬉しいです。じつは応募したい皆さんの目的は、いろいろな団体と交流することでした。今日も、新しい交流があって楽しかったです。今後も、たくさんの方のプロジェクトと交流していきたいと思っています。

2. フラッシュモブ実行委員会

**企画テーマ：「たまプラー座だよ！ 全員集合！」
まちの人たちでつくるオリジナルパフォーマンス（フラッシュモブ）の実行**

地域住民が楽しく育ち合う場所としてイベントを企画。フラッシュモブを通じて、積極的に地域の活動に関わる人材を育成し、まちのブランディングにも繋がっていきます。11月4日に開催することが決定しています。



非常に嬉しいです。日程は11月4日で決まっていますので、そこを目指してすでに動いていましたが、ようやく実現に向けて具体的に進めていけそうです。

3. 交流の森プロジェクトチーム

企画テーマ：交流の森

モデル地区はまちづくり活動が活発ですが、実現へのステップに発展させるためには、モデル地区に愛着を持つ人、働く人、大学、行政、企業が繋がるプラットフォームが必要だと考えています。これらを創出し、新たな関係を構築していきます。

すごく嬉しい反面、まだ課題もたくさん残っているのて、そこをクリアしていかなければと、フレッシュャーをすでに感じ始めています。でも、たぶんみなさんが今想像しているものよりも遙かにいいものが残せたらなと思っていますし、まだ主体性のない住民の人に主体性を与えるイベントにしていきたいです。



ホッとしました。住民の方々が今まで積み重ねてきた活動のハブを作ろうという企画だったので、責任も感じていますが、認定されたことをきっかけに次のフェーズにいけたらと思っています。

4. たまプラーザ商店街+AOBA+ART

企画テーマ：たまプラナイトウォーク ～光でつなげる街の輪～

12月開催の美しが丘公園ペアツリープロジェクト（イルミネーション）の一環として、公園までの道のりにある商店街で、ナイトウォークイベントを実施します。商店街の活性化やシビックプライドの構築に繋がっていきます。



5. 3丁目カフェ準備委員会

企画テーマ：3丁目カフェ

地域活動団体へ「場所」を提供することで、地域活動の活性化、新たなコミュニティの創出を図ります。制約を極力排したフリースペースを目指し、カフェ営業のほか、ギャラリー、コワーキングスペース等を設け、イベントも行います。

嬉しいですね。設計についてはほぼ出来ているので、後は実際の場所ですね。実はここが良いんじゃないかという場所はあるのですが、これから具体的に交渉などとして詰めていきたいと思っています。



● 学びの活動支援部門の紹介

アイデアがたくさん飛び出した「学びの活動支援部門」では、
22 企画への支援が決定しました。



1. 美しが丘アクティブ・ライフ・メイト・クラブ事務局

企画テーマ：「自立・奉仕・助け合い」をモットーに、地域の仲間たちと生き生きとアクティブ・ライフを楽しめる“共生ふるさと”の創生を地域の人々に提案する

何らかのサポートを希望する人と活動賛同者、ボランティアをマッチングさせる「情報の共有・交換システム」や「地域通貨」の運営、「交友の広場」の運営などを目指します。

2. たまプラフレンズ

企画テーマ：住民主導型まちづくりネットワーク たまプラ network

次世代郊外まちづくりに関心をもつ人たちが、思いを共有しつつ、ゆるやかなネットワークをつくり、まちの持続と再生に向けた情報や意見の交換を行います。定期的な全体会議・交流会の開催とウェブサイトの運営等を行います。

3. NPO 法人日本景観フォーラム

企画テーマ：景観から考えるまちづくり

よりよい景観を作り上げることで、まちをホッとできる場にしていきます。望ましい景観について合意形成を図り、「地域まちづくり基礎計画」を作り上げて、景観形成を実践していきます。

4. コレクティブハウス 美しが丘

企画テーマ：次世代集合住宅コレクティブハウスを利用した地域活性事業

多種多様な人間関係の中で生活していく「コレクティブハウス型住宅」を作りたいと考えています。新しい住民の流入促進、設立後の施設の一部を地域に開放することで、コミュニティの持続・再生、まちづくりの担い手を育成します。

5. たまプラーザにアグリ王がやってくる！ チーム・プロジェクト A

企画テーマ：野菜を育てる、まちを育てる

住民参加型のビジネスプロジェクト、株式会社アグリ王(横浜市港北区)のLED菜園(植物工場)を展開します。野菜作りをツールにした交流や食育、空きスペースの有効活用、コミュニティビジネスへの展開等を目指します。

6. たまプラーザ読み聞かせの会

企画テーマ：世代・ジェンダーを問わず全ての人々を対象とした紙芝居や絵本読み聞かせの会

多様な思いを認め合うことのできる敷居の低いプラットフォームとして、読み聞かせの会を地域を巡回して行います。それにより、異年齢の人々の繋がりを創り、地域の将来に対して思いを語れる人間関係を作ります。

7. たまプラ青空イベントを望む会

企画テーマ：みんなのたまヨガ

たまプラーザの屋外芝生エリアで、朝に、定期的に行われる青空ヨガ教室を開催します。健康的なからだづくりや病気予防、地域交流の場づくり、付加価値としてまちのイベントづくりの一端を担います。

8. AOBA+ART2013 実行委員会

企画テーマ：青葉食堂《わたしのお庭であいましょうツアー》

夕食のメニューをボードに記載して玄関先に展示するという、AOBA+ART の人気企画「青葉食堂」。今年は各家庭でおすそわけをもらいながらまちを歩く企画へと発展させます。コミュニケーションツールとしての役割を担います。

9. 株式会社コロタウンドットコム

企画テーマ：Colotown（コロタウン）を活用した、地域コミュニティづくりと、 地域コミュニケーションの活性化プロジェクト

3km 圏内のユーザーに投稿が配信されるコミュニケーションツール「コロタウン」を活用し、地域住民の繋がりを生み出し、地域情報の受発信やまちの安全・見守り、助け合い、地域課題解決等に活かしていきます。

10. 美しが丘 Diamonds

企画テーマ：学校を拠点とする地域住民交流の促進

次世代郊外まちづくりワークショップから生まれたグループ。既設の学校を交流拠点とする様々なアイデアを検証、具現化し、地域住民の交流を促進します。教育の場としての機能強化、学校イベントへの協力、地域住民向け勉強会の開催等を行います。

11. 「たまプ楽食」プロジェクト

企画テーマ：現代・たまプラ版「御用聞き」の実施 食の楽しみが皆をつなぐ

→「御用があれば、いつでも食のコンシェルジュ」

買い物や予約代行等、外出が困難な高齢者の要望を家まで行って聞く「御用聞き」サービスを実施します。高齢者の生活サポート・見回り、地域経済の活性化のほか、コミュニケーションの場を作ることに繋がります。



12. Loco-working 協議会たまプラプロジェクトチーム

企画テーマ：たまプラで暮らし、働くーロコワーキングーを考える

ロコワーキングとは、暮らしと仕事为爱着のある場所で繋がる新しい働き方のこと。情報発信や収集、コンテンツづくり等、たまプラで働き、余暇を過ごすライフスタイルにシフトチェンジするための仕組みづくりを行います。

13. あおばフレンズ（LLP 青葉まちづくり活性化協議会）

企画テーマ：桜並木の保存で街づくり（このままでは消えてしまう）

たまプラーザの桜並木は、現在手入れもされず、高齢化が進んでいます。住民の手で桜並木を守り、さくら祭りを継続していくことで、住民の交流とまちの環境づくりを考えるきっかけにしていきます。

14. あおばフレンズ（LLP 青葉まちづくり活性化協議会）

企画テーマ：地域雇用創出と街の安全安心

～ポスティングで健康増進とおこづかい稼ぎ、そして緩やかな見守りを～

フルタイムで働けないママ世代や元気なリタイア世代に、昔からある「ポスティング」の仕事を提供し、地域の雇用創出、健康づくり、見守りを兼ねたまちの安全形成を図ります。

15. たまプラ油田開発プロジェクト

企画テーマ：シビックプライドを育むコンパクトな循環型社会を試みる

家庭、飲食店、施設等で排出される食用油の廃油を回収し、軽油に精製して再利用可能な資源とします。イベント等も行い、楽しくエコ意識を高めていく。この燃料で走るコミュニティバスの運行に繋げていきたいと思います。

16. 特定非営利活動法人森ノオト

企画テーマ：たまプラーザエレキラボ

住民自らがエネルギー社会の構築に主体的に参加する仕組みを作り、その拠点を作り、市民電力の動きに繋がられるようなネットワークづくりと知識・経験の向上を図ります。災害時に必要な「10% エネルギー」の自給を目指します。

17. 特定非営利活動法人森ノオト

企画テーマ：たまプラーザシビックメディア

今後、モデル地区で市民活動が活発になることが予想されますが、地元を愛する人が情報発信を担うのがいちばんだと考えています。森ノオトのメディア運営の仕組みを利用し、情報発信支援、記事の執筆指導等のサポートを行います。

18. スマートライフ+ (プラス)

企画テーマ：オールたまプラーザの健康づくり

クリエイティブ・シティ・コンソーシアムが実施主体の「スマートライフワーキング」(主体企業：東急電鉄(株)、イツココミュニケーションズ(株))との共同企画として、週1回、筋トレの講座を開催し、介護予防や成人病予防、健康づくりを行います。同時に、地域住民の交流の場としても活用し、コミュニティの形成を図ります。

19. 平成の未来塾

企画テーマ：ミニミニゼミナールの創出

日常的に話し合える話題の提供、気軽に集まることのできる場所づくりと組織づくりを行います。多分野に渡るミニミニゼミナールを提案し、住民の意思疎通やコミュニティの創出を図っていきます。

20. 地域創賢街造りグループ

企画テーマ：世代巡回型まちづくり

多世代のふれあいの場と機会の提供、子育ての課題解決等、民力度の高いたまプラーザ住民が誇らしいと思える生活の場を構築し、まちの活性化を図ります。将来的には、NPOの創設、もしくは参加を求めています。

21. NPO 法人アクティブシニアよこはま

企画テーマ：次世代郊外街づくりは人づくり

退職後は、地域住民とのコミュニティを持つ機会を逸したままになりがちな、特にシニア男性の”気づき”につながる取組みを行います。

22. 暮らしの身近なデータからスマートキャンパスを考えるプロジェクト

企画テーマ：暮らしの身近なデータからスマートキャンパスを考えるプロジェクト

関心はあっても太陽光発電の導入に負担を感じている層が参加しやすい仕組みづくりや、地域コミュニティによる発電事業を行い、郊外住宅地の光熱費ゼロ化の実現を目指します。

● 今後の流れ

学びの活動支援部門の各企画は、2014年1月18日(土)に開催される第2回講評会での『次世代郊外まちづくり認定プロジェクト』の認定を目指し、企画の熟度を高めていきます。第2回講評会も公開で開催いたしますので、皆さまのご参加をお待ちしています。

また、2014年3月15日(土)には、中間報告会・交流会を開催し、認定プロジェクトの各団体間での連携も深めていきます。

ホームページ等でも活動内容を紹介していきますので、今後とも「住民創発プロジェクトーシビックプライド・プロジェクトー」に注目ください。

電気に加え
ガスの使用量も
「見える化」
します。

夏に実施した「家庭の節電プロジェクト」が、ガスを加えて

パワーアップ!

次世代郊外まちづくり

家庭の省エネ プロジェクト

参加受付期間: 2013年10月9日(水)～2013年12月31日(火)

実施期間: 2013年11月・12月・2014年1月の3カ月間

参加受付中!

省エネでトクしちゃおう!

特典 1

申込み＆省エネ達成で
もれなくもらえる!

たまプラーザの商業施設や商店街などで使える
次世代郊外まちづくりポイント

最大 **4,000** プラ

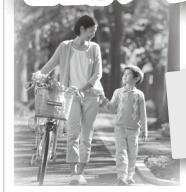
プレゼント!

※電気とガスの両方登録して
省エネ達成した場合

特典 2

抽選でもらえる!

参加者の中から
抽選で合計3名さまに
電動アシスト自転車を



プレゼント!

※写真は
イメージです。

詳しくは専用サイトをご覧ください!

<https://savepower.jp/jisedai/>

次世代郊外 で検索

【お問い合わせ】 次世代郊外まちづくり 家庭の省エネプロジェクト実行委員会事務局 (旧称 家庭の節電プロジェクト実行委員会事務局)
TEL.045-902-8957 10:00～17:00 (土・日・祝日、年末年始を除く) 専用サイト <https://savepower.jp/jisedai/>

【主催】



横浜市



【協賛】スマートコミュニティ推進部会



【協力】 たまプラーザ商店会、たまプラーザ中央商店街、たまプラーザ駅前通り商店会、イトーヨーカドー たまプラーザ店、たまプラーザ テラス、東急百貨店たまプラーザ店、たまプラーザ テラス東急ストア

※通信に掲載の各内容の詳細はホームページにて公開しています。

<http://jisedaikogai.jp/>



横浜市



東急電鉄